

日々新聞 第二機

米相庭師のあつ
羨を信ト占を頼み又
と又を頼の頭を并に愛
船場辺の仁仕會思
堂駕より帰る後より
七八の女声々君の頼有
我ハ裡ぞか二足の子裡
を取と瀧の側の函師
生膳を兼おせんとい
命を助給らへ君の望み准り
遠るあんとりあ申此
買取り東馬場と聞
子裡を放一帰路函師
當り茶井茶を様子
畢九の釣上りさら大
り成べ

天水堂裡昇記

子裡の信屋

信屋
形二九一

